

○【佐賀県】令和4年度発達障害児者地域生活支援モデル事業について

【類 別】

②地域における強度行動障害者支援のための支援体制構築

【内容①】

○強度行動障害支援部会の設置

⇒発達障害者支援地域協議会の中に、作業部会の一つとして設置した。

⇒強度行動障害の専門家(医療・福祉)、特別支援学校教諭、当事者家族から5名の委員を選定した。

	所 属	役 職	氏 名
当事者家族	佐賀県自閉症協会	会長	赤瀬 満博
専門家(医療)	肥前精神医療センター	精神科医長 (療育指導科長)	會田 千重
専門家(福祉)	社会福祉法人はる	理事長	福島 龍三郎
専門家(福祉)	株式会社ふれしゃす	代表	諸石 愛子
特別支援学校教諭	佐賀県立大和特別支援学校	教諭	江口 亜加音

(具体的な検討事項例)

- ・支援者間連携強化について
- ・令和5年度の強度行動障害に関する県予算について

- ・支援者養成研修について
- ・福祉と教育の連携について

○【佐賀県】令和4年度発達障害児者地域生活支援モデル事業について

【内容②】

○令和5年度から開催する「強度行動障害支援フォローアップ研修」及び「ダイジェスト版強度行動障害研修」の概要策定
⇒以下のとおり概要策定をした。(定員・スケジュール等については委託先決定後に変更の可能性あり。)

◎ 強度行動障害支援者フォローアップ研修

【目的】 強度行動障害児者の支援に現場で携わっている者の支援技術等の向上や支援事業所間の連携強化などを図り、支援対象者やその家族の負担軽減・不安解消・メンタルフォローにつなげる

【日程】 3時間 × 4日間(月1回程度の間隔)

【形式】 (1日目) 講義(国研修等のふり返し) (2日目) 冰山モデルを用いた事例検討会
(3日目) その後の変化等をグループ内で報告 (4日目) 報告会(参加者の所属代表者等を招いての発表会)

【対象者】 ・ 国カリキュラムである強度行動障害基礎・実践研修又は『ダイジェスト版強度行動障害研修』を受講済の者
・ 県内の医療、福祉、教育などの現場で強度行動障害児者(成人の場合は行動関連項目10点以上)の支援に携わっており、その支援について課題や悩みを抱えている者(看護師を含む)
・ 所属(事業所・学校・病院等)の代表として受講できる者(4日目の報告会には所属代表者等の参加を求める)

【定員】 ファシリテーター 5~6名 × 各グループ 6名 = 30名~36名

◎ ダイジェスト版強度行動障害支援研修

【目的】 当該研修の実施により、強度行動障害に関する基礎的な知識を幅広い関係者が習得することができる
国カリキュラムである強度行動障害基礎・実践研修を未受講であっても、共通の言語・認識を持った状態で『強度行動障害支援者フォローアップ研修』に参加できる体制を整える

【日程】 8時間 × 1日(『強度行動障害支援者フォローアップ研修』の開催前に実施)

【形式】 座学研修

【対象者】 県内の医療、福祉、教育などの関係者(直接強度行動障害支援に携わっていない者を含む)

【定員】 30名程度(希望者多数の場合は『強度行動障害支援者フォローアップ研修』参加者を優先する)

【備考】 『強度行動障害支援者フォローアップ研修』に参加希望で、基礎・実践研修未受講者は、受講必須とする